

国名	エジプト・アラブ共和国	
案件名	アシュート変電所建設事業	
借入人	エジプト電力公社 (EGYPTIAN ELECTRICITY AUTHORITY:EEA)	
事業実施機関	エジプト電力公社	
交換公文締結	1983年11月	
借款契約調印	1984年5月	
貸付承諾額	7,940百万円	
貸付実行額	7,870百万円	
事業概要と OECF 分	<p>本事業はカイロ南方約 360km に位置する上エジプト地域の中心都市アシュートに変電所を建設することにより、同地域の増大する電力需要に対応すると共に、電力の安定的かつ効率的な運用を図るものである。OECF 借款対象は、本変電所建設に必要な資金の外貨分である。</p>	
主要計画／実績比較	計 画	実 績
事業範囲：		
変圧器		
①500/220/11KV(容量 375MVA)	2 基	同 左
②220/132/11KV(容量 150MVA)	2 基	同 左
開閉装置		
①500KV 用 GIS (ガス絶縁式) 開閉装置	1 式	同 左
②220KV 用 GIS (ガス絶縁式) 開閉装置	1 式	同 左
③132KV 用 GIS (ガス絶縁式) 開閉装置	1 式	2 式
④33KV 用開閉装置	—	1 式
⑤11KV 用開閉装置	1 式	同 左
500KV 送電線用保護装置等	1 式	同 左
500KV 開閉装置用テスト機器	—	1 式
工 期 (契約～完工)：	1985年8月～1987年12月 (28ヶ月)	1985年8月～1991年6月 (70ヶ月)
事業費：		
外貨	7,940百万円	8,181百万円
うち OECF 分	7,940百万円	7,870百万円
内貨分	4,200千 LE	4,203千 LE
換算レート	1 LE=290 円	1 LE=97.8 円

総 合 評 価

(1) 事業範囲

ほぼ当初計画通りに実施された。132KV 用 GIS 及び 33KV 用開閉装置ならびに 500KV 用開閉装置のテスト機器の追加調達については、事業実施中の事情変更への対応上必要となったものであり、適切なものであったと考えられる。

(2) 工期

計画通りに着工されたが、主に米国際開発庁 (USAID) のグラントによって実施された 500KV 送電線保護装置の調達・据付が遅延したため、当初計画に比べて全体で 42 ヶ月遅れて 1991 年 6 月に完工した。

(3) 事業費

外貨分は若干のコストオーバーラン、内貨分は計画とおりとなった。外貨分のコストオーバーランは、132KV 用 GIS 及び 33KV 用開閉装置ならびに 500KV 用開閉装置のテスト機器の追加調達が原因である

(4) 実施体制

建設、運転、運営・維持管理はエジプト電力公社(EEA)が行った。USAID が担当した 500KV 送電線保護装置と円借款で調達した変電設備等とのスケジュール調整には若干問題はあったものの、基本的には EEA の能力には大きな問題はなかった。また、コントラクターも重電事業に実績のある本邦企業であり、かつフルターンキー契約であったことから、実施体制に特に問題はなかったものと判断される。

(5) 運営・維持管理状況

稼動状況については、アシュート発電所の建設によって 500/220/11KV 変圧器の平均変電需要は低くなっているものの、220/132/11KV 変圧器の同需要は審査時の見込みを上回っている。保守状況についても、これまで特に大きな問題は生じておらず、適切な対応がとられているものと考えられる。

事 業 効 果

本変電所の平均変電需要は、審査時需要予測の約 7 割の水準となっており、アシュート地区の電力需要への対応と安定的かつ効率的な電力の運用への貢献という事業目的は達成されているものと判断される。

(備考) 評価報告日：1997年3月

評価手法：事務所評価